



柚木沙弥郎と
ラマチャンドランの仕事
2024.4.20(土)-6.30(日)

かえるの平家ものがたり
斎藤隆夫の仕事
2024.7.6(土)-9.1(日)

「なきむしせいとく」と
「じごくのそうべえ」
田島征彦の仕事
2024.9.14(土)-11.24(日)



春の
おひむし探検隊
みどりのゆりかごのたねまきをしよう
めだかの学校の入学式

歌春さんの落語を楽しもう
お田植え落語会



田植えの日

音楽会 平野公崇ほか
サクソフォオン
カルテット ミラベル

自然の秘密をみつけよう
ゲッチョ先生と



冬版10才のひとり旅

えほんの郷の収穫祭
めだかもトンボも鈴虫も
いっしょに音楽会
2024.10.26(土)

木城えほんの郷 2024
めだかの学校のお米づくり



この郷をめぐる
山々の上に
一番星が輝くまで、
みどりのゆりかごの森に
つまれる水のステージは、
この世でただひとつの
不思議な楽器に変身するだろう
秋の実りの音。風の音。
谷の水の音。虫の音。
今年のまればいと
ミュージシャンは
「フレンチカリブ
ビッグバンド ティボンシュ」
自然の音と出会って、
この郷を駆けめぐる
収穫祭の不思議な、
ふしぎな 音楽会。

21世紀のいま、人間よりも弱い
自然の小さな生命に味方すること
この青い星地球と人間に味方することになるのだ

お花見狂言会

むかしむかし、さくらの
花は、冬の間に山に帰っていた
田(さ)の神さまが、
春になると里に帰ってきて
田んぼの作業をはじめのように
合図を送ってくれる花だったのです。
だから人々は花見をはじめ、
農作業のはじまりに田の神を讃え
お米の豊穰を祈って、
芸能を楽しむようになったのです。
えほんの郷の「お花見狂言会」の
夜は、お花見と狂言と農作業の
はじまりが一体に響き合う
「めだかの学校のお米づくり」の
はじまりの夜なのです。

風や小鳥やアリたちが種子を
まくようにみどりのゆりかごの
たねまきをしよう

くらやみ探検隊
くらやみと火のまつり

冬版10才のひとり旅
君は冬の森の中の
枯れ葉のフトンに眠れるか

もちつきの日

秋の
おひむし探検隊

秋のよろこび
稲刈りの日



于大武、蔡皋、徐楽楽
中国の絵本作家の仕事
2024.11.30(土)-2025.1.26(日)

「やなぎむら」だより
カズコ・G・ストーンの仕事
2025.2.1(土) - 4.6(日)



■2024-「この青い星地球に生きている人間より弱い自然の小さなものに味方が、21世紀の地球と人間に味方することになる」

めだかの学校の入学式 (4/28)	山あそび・森あそび・水あそび・絵本もあそび へえほんの郷をあそぼう(2024) (4/27・5/6)	お田植え落語会 (6/1)	田植えの日 (6/2)	音楽会(平野公崇ほか) (6/15)	「サクソフォン カルテット ミラベル」	宮崎昔ばなし大学(小澤再話研究会)(7/20)	ゲッチョ先生と (7/27・28)	自然の秘密をみつけよう (7/27・28)	青年ワークシヨップと (8/17・20)	夏版10才のひとり旅 (8/20・24)	田島征彦講演会 (9/16)	秋のよろこび 稲刈りの日 (10/6)	木城えほんの郷の収穫祭 (10/26)	「フレンチカリブビッグバンド テイポンシユ」 めだかもトンボも鈴虫もいっしょに音楽会 (10/26)	冬版10才のひとり旅 (12/14・15)	めだかの学校のもちつきの日 (12/22)	くらやみと火のまつり (2/1・2)	くらやみ探検隊	みどりのゆりかごのたねまきをしよう 風や小鳥やアリたちが種子をまくように(3/2)	お花見狂言会 (3/22)	めだかの学校のお米作りのはじまり
----------------------	--	------------------	----------------	-----------------------	---------------------	-------------------------	----------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------	------------------------	------------------------	--	--------------------------	--------------------------	-----------------------	---------	--	------------------	------------------

<みどりのゆりかごづくり> — 蝶道整備計画・花時計計画進行中 —

[インフォメーション]

開館時間/10:30~17:00(最終入館16:30まで)
 休館日/毎週月曜日(ただし祝日のときには翌日休館)
 ・年末年始及び展示替えのための休館があります。
 入館料/大人500円 小中高生 300円
 ・特別展・特別企画のときは別料金となります。
 宿泊料/森のコテージ 1棟1泊10,000円
 (利用時間PM3:00~AM11:00)
 ・えほんの郷会員は2割引です。
 詳しくは木城えほんの郷にお問い合わせください。

[交通のご案内]

航空 東京→宮崎 約1時間30分
 大阪→宮崎 約1時間
 福岡→宮崎 約40分
 JR 宮崎空港→高鍋 約35分
 車 高鍋駅から 約30分
 延岡から 約1時間20分
 宮崎から 約1時間
 博多から 約4時間
 高鍋インターから 約20分



お問い合わせ/木城えほんの郷 〒884-0104 宮崎県児湯郡木城町石河内475 TEL0983-39-1141 FAX0983-39-1180
<http://service.kijo.jp/~ehon/> Email:ehon@kijo.jp
 *えほんの郷を体験する応援スタッフを募集しています



■2024-絵本原画展 [現代アジアの土の香り-絵本作家が伝えたいこと]

春のむしむし探検隊 (5/25・26) 本を読む人木を植えよう	木杣沙弥郎と ラマチャンドランの仕事 (4/20・6/30)	展示替え休館 (7/1~5)	斎藤隆夫の仕事 「かえるの平家ものがたり」	虫をとる子は草の花のたねまきをしよう (7/6・9/1)	展示替え休館 (9/2~13)	田島征彦の仕事 「じごくのそつべえ」 「なきむしせいとくと」	秋のむしむし探検隊 (11/16・17) 鳥を聴く人実のなる木を植えよう	展示替え休館 (11/25~29)	中国の絵本作家の仕事 于大武・蔡皋・徐楽楽	展示替え休館 (11/30~1/26)	展示替え休館 (1/27~31)	カズコ・G・ストーンの仕事 「やなぎむら」だより	みどりのゆりかごのたねまきをしよう 風や小鳥やアリたちが種子をまくように
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年1月	2月	3月		